

# 車部品試作大手

## 「浅野」が新工場

### 伊勢崎の工業団地内

自動車部品試作大手の浅野（浅野誠社長、伊勢崎市境東新井）が、伊勢崎三和工業団地（同市三和町）の工場を増

設する。同工業団地内にある試作用部品の溶接工場が、事業の拡大に伴って手狭になり、昨年から2回にわたって隣接する土地計約2・3畝を買い増した。10年9月に着工し、11年2月の操業を目指す。新工場の規模や事業費は未定。

浅野は国内の全自動車メーカーから、新車やモータースポーツ用の部品の試作を請け負っており、県内では最大手。自動車や樹脂製品用の金型生産も手がける。

従業員数は370人で、07年3月期の売上高は63億円。自動車産業の成長に乗り、関

連事業のM&A（企業の合併・買収）も進めて業績を伸ばしている。将来的には本社の工場機能も同団地に集約することを検討しているという。

同工業団地は全体で50・7畝の広さがあり、浅野の土地取得で6・5畝の1区画を残すのみとなった。